

平成27年 6 月 1 7 日

各大学長
各大学農学部長 殿
各関係機関長

弘前大学農学生命科学部長
佐々木 長 市
(公印省略)

微生物生態学分野教授の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび弘前大学農学生命科学部では、下記要領により分子生命科学科微生物生態学分野の教授を、公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、本学部ホームページの教員公募情報 (<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/other/koubo/>) にも掲載しております。

記

(1) 公募条件

- 1) 専門分野 微生物生態学
- 2) 応募資格 次の要件を満たす人。
 - ① 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有し、研究および教育上の優れた能力を有すること。
 - ② 教育上の実績と、著書および学会誌又はこれに準ずるものに掲載された原著論文・総説 20 編以上、最近 5 年間に公表された著書および同上の原著論文・総説 5 編以上を有すること。

(2) 提出書類

- 1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
- 2) 研究業績目録（業績の区分、記載方法については、ホームページを参照してください）
- 3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの 20 編以内の別刷又はコピー
- 4) 3) のうちの 5 編について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
- 5) 教育業績書
- 6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
- 7) 学会および社会における活動状況の説明書
(所属学会とその学会における活動および公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載して下さい)
- 8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育および研究に対する抱負を述べたもの（それぞれ 2,000 字以内）

※必要書類中 1)、2)、5)、6) は所定の用紙に記載して下さい。

用紙は、本学部のホームページからダウンロードして下さい。

書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績

目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

(3) 応募期限 平成27年 7月31日(金)(書類必着)期限を過ぎた応募は受け付けません。

(4) 採用予定日 平成28年 4月 1日(金)

(5) 応募書類の提出先

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学農学生命科学部長 佐々木 長市 宛

※なお、提出書類は応募者が直接持参するか、郵便の場合には「分子生命科学科微生物生態学分野教授応募書類」と朱書し、「書留」でお送り下さい。

(6) 問い合わせ先

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学農学生命科学部総務グループ(総務担当)

電話 (0172) 39-3748 FAX (0172) 39-3750

E-mail jm2745@hirosaki-u.ac.jp

〔付記〕

1. 分子生命科学科は、「生化学」、「分子生物学」、「細胞生物学」、「生物有機化学」、「応用微生物学」などにおける基礎的な教育を柱としており、今回の公募は微生物生態学分野の教員補充に伴うものです。
2. 今回公募する教員の担当予定授業科目は、教養教育科目(基礎ゼミナールなど)、学部専門教育科目(微生物化学、遺伝子工学、生体物理化学Ⅰ、海外研修入門、専門英語、卒業研究など)および大学院修士課程授業科目(コース分野の担当科目、研究方法論、特別研究など)です。これらの科目の中には複数の教員による分担も含まれます。ただし、大学院における専門科目の授業を英語でできる方が望ましい。
3. 微生物生態学分野の教員には、白神山地・下北地域など本県独特の環境における微生物の生態、及び探索と利用に取り組み、地域資源を活用した発酵食品の開発等にイノベーションを起こせる人材の教育・育成ができる方を望みます。
4. 本学部は、岩手大学、山形大学および帯広畜産大学とともに博士課程大学院(岩手大学大学院連合農学研究科)を構成しており、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
5. 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
6. 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます(ただし、任期付きではありません)。

【備考】

1. 弘前大学では、男女共同参画を推進しております。農学生命科学部では、「男女共同参画社会基本法」の趣旨により、業績(研究・教育・社会貢献)において同等と認められる場合は、女性の応募者を優先的に採用します。
教育研究支援・子育て支援等の取り組みについては、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
2. 弘前大学では、外国人の方の積極的な応募をお待ちしております。